派遣留学生帰国報告書

＊帰国（復学）後の情報を入力してください

記入日	2020/6/4
所属学部・研究科・学府	文学部
所属学科・専攻	人文学科国際言語文化学コース

1．留学先について

留学先大学名	グアダラハラ大学										
留学先所属学部等	CUCSH, Licenciatura en Letras Hispànicas										
留学期間	出発日	2019/8/6	入学日	2019/8/12	修了日	2020/6/4	帰国日	2020/4/6			
住居		大学(紹介)の寮・アパート		民間アパート	○	その他（ ホームステイ ）					
住居	通学時間	10～15分		On campus							
住居	通学方法	バス									
住居	居室スペース	○	個室		（ ）人部屋		その他（ ）				
住居	共有スペース		完全個室	○	キッチン	○	トイレ	○	バス	○	リビング	その他（ ）
食事	自炊 15％	学食 0％	外食 50％	その他 35％	（ 人が作った料理 ）						
保険	海外旅行保険(名称)	ジェイアイ傷害火災保険									
保険	派遣先大学指定の保険(名称)	なし	□強制加入								
保険	その他										
渡航ルート	ex.） 成田⇔シカゴ（飛行機）⇔ウィスコンシン（電車）										

成田⇔仁川 ⇔ ロサンゼルス ⇔ グアダラハラ(飛行機）

※帰国ルート： グアダラハラ⇒メキシコシティ⇒成田（飛行機）

2．留学にかかった費用について

総費用	146万 円

出どころ

自費		貯金 円		アルバイト 円		その他 円		
援助	○	両親 35万 円		家族・親戚 円		その他 円		
奨学金	○	JASSO 60万 円	○	その他名称（ JASSO(貸与型） ） 51万 円				
その他		その他（ ） 円						

２－１. 財政管理の方法

渡航時	○	現金 3万 円			その他（ ） 円	
留学中		海外送金	○	キャッシング		その他（ ）

２－２. 各費用の支払い方法

大学に払った費用	全額、クレジットカードで
住居にかかった費用	全額、現金で
その他	

２－３. 内訳

費目	外貨金額 通貨単位		円貨金額	
渡航費(往復)			35万	円
海外旅行保険			15万	円
OSSMA			19,800	円
査証･在留許可証				円
住居	メキシコペソ	32,500	195,000	円
食費	メキシコペソ	36,000	216,000	円
通学に要する交通費	メキシコペソ	2,400	14,400	円
教科書、教材費	メキシコペソ	1,000	6,000	円
その他大学に支払った経費	メキシコペソ	3,000	18,000	円
光熱費	メキシコペソ	1,000	6,000	円
その他 （ 娯楽費(旅行等) ）			434,400	円
その他 （ 通信費 ）	メキシコペソ	1,600	9,600	円
その他 （ 衣服 ）	メキシコペソ	6,000	36,000	円
その他 （ 日用品 ）	メキシコペソ	800	4,800	円

３. 学業面

	履修科目名	種類ex.正規、聴講	単位数	単位互換認定申請の有無			
1	IDIOMA 1	正規	8		有		無
2	IDIOMA 2	正規	8		有		無
3	IDIOMA 3	正規	8		有		無
4	IDIOMA 4	正規	8		有		無
5	ENSEÑANZA DEL ESPAÑOL COMO SEGUNDA LENGUA	正規	8		有		無
6	HISTRIA DEL ESPAÑOL EN MEXICO	聴講	0		有		無
7	Introducción al Creano	聴講	0		有		無
8	Creano 1	聴講	0		有		無
9					有		無
10					有		無

３－１. 授業科目の選択、登録方法

授業登録はかなり難関である。登録期間が1週間しかない上に、シラバスが公開されていないので、学科のHPや授業検索で気になる授業名、曜日、時間、教室を確認し、第1回目の授業に参加してみて授業の内容や難易度を確認してみないといけない。授業の登録はチューターを通して行う。なので、初めに気になる授業に初めの1週間で一通り参加してみて、最終決定した授業コードをチューターにSNSで伝えることで授業登録が完了する。または、直接学務に行って授業登録をしてもらう。

３－２. 授業内容、方法に関して

私が通っていたキャンパス(CUCSH)では、1つの授業が週1回3時間か週2回９０分ずつで行われていた。授業によって学生数は違ったが、多くても20名程。講義方式よりグループワーク方式が多く、授業内に学生の発言が多かった印象。また、教授にもよるが、開始時間ちょうどに授業が始まることはあまりなかった。いつも約30分遅れてくる先生もいたし、3時間の授業が1時間で終わることもあったし、授業中にサンドイッチを食べ始める学生もいたし、自由度がかなり高い。

３－３. 語学力について

日常会話ではほとんど問題がないようにはなったが、授業についていくのはたいへんだった。授業、日常会話共にスペイン語のみで、特に留学生に対処などはなかった。

３－４. 図書館など学内施設について

学生は誰でも利用可能。入る前に必要なものだけを取り出して、他は預けないと中に入れなかった。
CUCEAというキャンパスの図書館が一番大きくて綺麗。映画館もあった。

３－５. その他

1学期目は留学生オリエンテーションもなにもないまま授業が始まったので、注意が必要。学生証の手続きであったり、色んな情報がSNSのグループトーク内で流されるので、こまめにチェックした方がいい。

４. 生活面

４－１. 住居について

食事なしのホームステイ。私の他に、メキシコ人の女の子がホームステイしており、バスルームはその子と共用だった。キッチンは自由に使え、門限などは特になかったが、洗濯機を自由に使わせてもらえなかったので、コインランドリーに行ったり、向かいの家に洗濯機を借りたりしていた。

４－２. 食生活について

授業終わりに、同じ授業を受けた子と大学の周りにある屋台で買ってたべたり、お店に入って食べることが多かった。何もない日はよく向かいのおばあさんの家でご飯を食べていた。自炊はほとんどしなかった。

４－３. インターネット環境、携帯電話について

初めにSIMを購入して、チャージ金額に応じて使えるギガ数が違った。Telcelという携帯会社を利用し、200ペソ（約1200円）で大体1か月使えた。ネットやコンビニでチャージ可能。大学内や家の中はWi-Fi環境にあり、特に不自由は感じなかった。

４－４. 服装について

大体暑かった。肌を露出した格好をしている人が多かった。ただ12～2月は朝と夜がかなり冷え込み、昼との気温差が20度もある日があるので、コートはいらないが長袖や羽織れるものは必要。

４－５. 健康管理について

メキシコは高地地帯であるのと、料理にハラペーニョなどの香辛料が多く使われているので、初めはお腹を壊す人が多かった。日本から持ってきた整腸剤が効かないと言っていたので、現地のものを使った方がいい。また、気温差が激しいので体調を崩しやすい。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　また、グアダラハラは雨季と乾季があり、雨季は１日のどこかで必ず１時間ほど土砂降りになる。土砂降りの後は道路が川になりがちで、身動きができなくなる。天気はチェックした方がいい。が、あまりあてにならない。

４－６. 保険、OSSMAの利用について

利用しなかった。

4－7. 課外活動について

グアダラハラにある日本語学校に週に1, 2回ボランティアに行っていた。授業と授業の間の時間に、日本人留学生と語学学校のメキシコ人の学生達とで、日本語とスペイン語を交えて会話する時間が設けられており、そこで学生たちと交流を深めた。

4－8. 学外のコミュニティとの交流について

休日は友人と映画を見に行ったりどこかへ出かけたり、留学生同士で母国の料理を作って持ち寄ったりした。また誕生日会に参加したり、クリスマスはホストファミリーからプレゼントをもらった。向かいの家のおばあさんととても仲良くなり、おばあさんの故郷へ遊びに行ったりもした。

4－9. 日本から持参してよかったもの

メイク道具、ふりかけ、みそ汁のもと、部屋用のスリッパ、消しゴム、マスク、折りたたみ傘

4－10. 日本から持参したが不要だったもの

ノート、ペン

4－11. 現地での対人関係について気づいたこと(習慣の違い、マナーなど)

挨拶は、女性・男性間、女性・女性間では頬にキスをする。食事は出された人から食べ始める。対人関係ではないが、レストランで食事した際は食事代の10%程をチップとして出すのが常識。また、約束時間に30分～1時間遅れるのが当たり前で、事前に遅れる連絡をすることもなく、遅れて登場してもけろっとしているので、遅れて来る友人にあまり腹を立てても意味がない。(全員がそうではないが)

4－12. 余暇の過ごし方

旅行

留学生のコミュニティで、チューターがメキシコ国内のバス旅行をよく企画していたので、独立記念日や死者の日はその旅行に参加した。
【Guanajuato, San Miguel de Allende, Querétaro, Peña de Bernal, Dolores Hidalgo(観光)】 2019年9月(4日間)　約2万円
【Tequila (観光)】 2019年9月(1日間) 約3千円
【Cocula (観光)】 2019年9月、10月(各1日間) 各約2千円
【Janitzio, Pátzcuaro, Zamora, Morelia (観光)】 2019年11月(3日間) 約2万円
【ロサンゼルス (観光)】 2019年11月(4日間) 約7万円
【Tulum, Isla mujeres, Isla Cosmel, Playa del Carmen, Cancún(観光)】2019年12月(7日間)約10万円
【メキシコシティ (観光)】 2019年12月～2020年1月(8日間) 約5万円
【メキシコシティ (観光)】 2020年1月、2月(各3日間) 各約4万円 ＊コンサート
【Morelia, Mariposa Monarca, Pátzcuaro, Janitzio(観光)】 2020年3月(3日間) 約2万円

その他　＊気分転換やストレス発散法など。

日本料理屋さんや韓国料理屋さんに行く。K-POPを聞く、韓国ドラマを見る。

5. その他

5－1. 留学先大学について

キャンパスがグアダラハラ内にいくつかあって、それぞれ全く景観が違うのでいろんなキャンパスに行くのも楽しい。学務に日本のようなレスポンスの速さや対応を期待してはいけない。

5－2. 留学希望者へのアドバイス

千葉大学からグアダラハラ大学への派遣留学は、私が第１号なので、もしグアダラハラ大学に留学希望する学生がいたら何でも聞いてほしいと思います。授業登録は激難なので、思い通りにいかないと思いますが、あまり悩みすぎても時間の無駄なので、前向きに考えましょう。また私の場合、今まで連絡が取れていた職員と急に連絡が取れなくなったと思ったらその職員が辞めていた、ということもありました。事務的なことで、全然対応してくれない･いつも先送りにされる、などは日常茶飯事なので、何度でもしつこくずうずうしい態度を見せることも必要です。しかし良い意味でも悪い意味でもかなり陽気な人が多く、フレンドリーなので、日本人だからと冷たい態度を取られることはほぼありません。逆に珍しがられるので、道端で一緒に写真撮って！と言われることもあります。語学面だと、行く前にたくさんスペイン語を聞いて耳を慣らしておくといいと思います。また、メキシコ特有の言い回しもたくさんあるので、勉強するのが楽しいと思います。

5－3. 留学を終えて

インターネットが普及して、スマホ１つでなんでもできる時代なので、留学しても自分が動かなければ日本でも生活とさほど変わらない生活になっていまうことを実感した。行動力、体力が留学には必要だと思った。コロナウイルスで緊急帰国になったが、留学先で経験したことはずっと思い出だし、ここでの出会いをこれからも大切にしたいし、またいつかメキシコを訪れたいと強く思う。